

学 年
低

おはなしを、いいかんじでかんせいさせよう！

年 組 氏名



☆おはなしの中にでてくる「かんじ」をかいて、おはなしをかんせいさせましょう。

むかしむかし 千年の 大むかし、ある 山に、
 口が赤くて目が青く、手足のながい
 一人の大男がすんでいました。その山
 は、森と林にかこまれていて、春にはいろいろ
 な草花がさきます。それはまるで、お花畑の
 ようでした。大男は、花が大すきで、あさ早く
 から、夕がたの日は、花を見ているま
 した。気がつくとき、あつというまに、百年たつたとさ。



学 年

低

お話を、いいかんじでかんせいさせよう！ 2

年 組 氏名



☆お話の中に出てくる「かんじ」を書いて、お話をかんせいさせましょう。

むかしむかし、ある国に、それはそれは心がきれいな四人の
兄弟姉妹がいました。一番上の兄は、細くて
背が高く、走ることが馬よりもはやかったそうです。二番
目の姉は、米や麦を作ることが上手で、鳥と話
することができました。三番目の妹は、星のように光る
黒い目をしていて、明るい笑顔の女の子でした。
四番目の弟は、教室で本を読んだり考えることがすき
でした。春も夏も秋も冬も夜も昼も、ずっと四人は
親しくて、父母の自まんの子どもたちだったとき。

